

別冊資料

平成30年度鳥取県に関するイメージ調査

平成31年3月

 鳥取県

目次

I. 調査概要	
1. 調査概要	2
2. 対象者プロフィール	3
II. 調査結果	
1. 鳥取県への訪問経験・鳥取県のイメージについて	
1-1. 鳥取県への訪問経験	5
1-2. 『鳥取県』と書かれて連想されるもの	6
1-3. 『砂丘』以外の連想するもの	7
1-4. 鳥取県の色	8
1-5. 鳥取県に対するイメージ	9
1-6. 鳥取県に最も当てはまる県のイメージ	10
1-7. 鳥取県の天候に対するイメージ	11
2. 鳥取県の話題・特産物・観光地について	
2-1. 見聞きしたことのある鳥取県に関する話題	13
2-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向	14
2-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向	18
2-4. 鳥取県の魅力点と魅力不足点	22
2-5. 鳥取県の魅力向上に必要な分野	23
2-6. 鳥取県に関する主な情報入手経路	24
2-7. 鳥取県について得たい情報	25
3. 鳥取県への訪問意向について	
3-1. 鳥取県への訪問意向	27
3-2. 鳥取県への非訪問意向理由	28
3-3. 今後の鳥取県への訪問時の主要目的	29
3-4. 鳥取県に対する満足度	30

1. 調査概要

■ 調査目的 首都圏など14都府県在住者を対象に、本県のイメージや地域資源の認知度、観光・余暇等を把握する。

■ 調査名 「鳥取県」の観光に関する、14都府県調査

■ 調査地域 ①首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県) ②関西圏(大阪府・兵庫県・京都府)
③中京(愛知県) ④中国・四国(広島県・岡山県・愛媛県・香川県・徳島県)
⑤九州圏(福岡県)

■ 調査方法 インターネット調査

■ 対象者 上記エリアに居住する、10代以上の男女個人

■ 回収数 5,400サンプル

①首都圏(2,400サンプル) ②関西圏(900サンプル) ③中京(300サンプル)
④中国・四国(1,500サンプル) ⑤九州圏(300サンプル)

■ 実施期間 2018年11月12日(月)～11月19日(月)

■ 実施機関 楽天インサイト株式会社

2. 対象者プロフィール

エリア(居住地)

	エリア(居住地)											
	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都
2016年全体 (5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1
2017年全体 (5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1
2018年全体 (5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1

	性別		年代					
	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
2016年全体 (5400)	48.8	50.2	8.4	24.0	17.5	18.7	16.7	16.7
2017年全体 (5400)	49.1	50.9	11.2	21.2	17.1	17.0	16.7	16.7
2018年全体 (5400)	49.2	50.8	12.0	20.9	17.1	16.7	16.7	16.7
首都圏 (2400)	49.0	51.0	14.3	19.0	16.7	16.7	16.7	16.7
関西圏 (900)	48.8	51.2	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
中京 (300)	48.3	51.7	16.0	17.3	16.7	16.7	16.7	16.7
中国・四国 (1500)	50.0	50.0	4.7	26.8	18.4	18.7	16.7	16.7
九州圏 (300)	48.3	51.7	12.3	21.0	16.7	16.7	16.7	16.7

II. 調査結果

1. 鳥取県への訪問経験・鳥取県のイメージについて



但し、n=30未満は除く。
(以降のページも同様。)

1-1. 鳥取県への訪問経験

◆ 訪問経験率は、この3年間で微増しており、半数弱で推移している。

- エリア別では、中国・四国(広島県・岡山県・愛媛県・香川県・徳島県)と、関西圏(大阪府・兵庫県・京都府)の訪問経験率が7割強と他エリアに比べて高い。
- 一方、首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)や、中京(愛知県)、九州圏(福岡県)の訪問経験率が相対的に低い。
- エリア×年代別では、どのエリアも年代が上がるほど訪問経験率が高まる傾向がみられ、特に60代以上で高く中国・四国、関西圏では9割近くになっている。

Q5. あなたは、鳥取県を訪れたことがありますか。

訪問経験あり or 居住経験あり計

エリア	年代	訪れたことがある		訪れなかった	
		(%)	(人)	(%)	(人)
中国・四国	2016年全体 (5400)	45.0	243	55.0	297
	2017年全体 (5400)	47.2	256	52.8	284
	2018年全体 (5400)	48.1	260	51.9	280
	首都圏 (2400)	23.3	56	76.7	184
	10代 (343)	14.6	50	85.4	293
	20代 (457)	21.4	97	78.6	360
	30代 (400)	20.5	82	79.5	318
	40代 (400)	20.5	82	79.5	318
	50代 (400)	31.0	124	69.0	276
	60代以上 (400)	43.3	173	56.7	227
関西圏	2016年全体 (300)	70.0	210	30.0	90
	2017年全体 (300)	70.0	210	30.0	90
	2018年全体 (300)	70.0	210	30.0	90
	首都圏 (2400)	23.3	56	76.7	184
	10代 (343)	14.6	50	85.4	293
	20代 (457)	21.4	97	78.6	360
	30代 (400)	20.5	82	79.5	318
	40代 (400)	20.5	82	79.5	318
	50代 (400)	31.0	124	69.0	276
	60代以上 (400)	43.3	173	56.7	227
九州圏	2016年全体 (300)	30.0	90	70.0	210
	2017年全体 (300)	33.3	100	66.7	200
	2018年全体 (300)	35.0	105	65.0	195
	首都圏 (2400)	23.3	56	76.7	184
	10代 (343)	14.6	50	85.4	293
	20代 (457)	21.4	97	78.6	360
	30代 (400)	20.5	82	79.5	318
	40代 (400)	20.5	82	79.5	318
	50代 (400)	31.0	124	69.0	276
	60代以上 (400)	43.3	173	56.7	227
その他	2016年全体 (300)	23.3	70	76.7	230
	2017年全体 (300)	18.3	55	81.7	245
	2018年全体 (300)	17.3	52	82.7	248
	首都圏 (2400)	23.3	56	76.7	184
	10代 (343)	14.6	50	85.4	293
	20代 (457)	21.4	97	78.6	360
	30代 (400)	20.5	82	79.5	318
	40代 (400)	20.5	82	79.5	318
	50代 (400)	31.0	124	69.0	276
	60代以上 (400)	43.3	173	56.7	227

訪問経験あり or 居住経験あり計

エリア	年代	訪れたことがある		訪れなかった	
		(%)	(人)	(%)	(人)
中国・四国	2016年全体 (3400)	49.0	167	51.0	174
	2017年全体 (3400)	51.2	174	48.8	166
	2018年全体 (3400)	50.1	171	49.9	169
	中国・四国 (1500)	72.0	234	28.0	96
	10代 (70)	63.1	48	36.9	28
	20代 (404)	62.6	167	37.4	137
	30代 (278)	71.6	199	28.4	79
	40代 (250)	74.3	196	25.7	64
	50代 (250)	74.0	185	26.0	65
	60代以上 (250)	87.6	219	12.4	31
九州圏	2016年全体 (300)	27.7	83	72.3	217
	2017年全体 (300)	30.0	90	70.0	210
	2018年全体 (300)	31.0	93	69.0	207
	中国・四国 (1500)	72.0	234	28.0	96
	10代 (37)	16.2	6	83.8	31
	20代 (63)	18.0	11	82.0	32
	30代 (90)	22.0	18	78.0	52
	40代 (90)	46.0	41	54.0	49
	50代 (90)	48.0	43	52.0	47
	60代以上 (90)	64.0	58	36.0	32

1-2. 『鳥取県』と言われて連想されるもの

◆「砂丘」(78.2%)が突出して高い状況で、近年と同様。エリア別では中国・四国で「砂丘」以外の項目の回答率が高い。

Q6. あなたは「鳥取県」と言われて何を連想しますか。(自由回答、複数回答あり)



1-3. 『砂丘』以外の連想するもの

- ◆ 砂丘以外の回答は多岐に分散。「特にない・わからない」(25.1%)の回答率が最も高い。
- ◆ 「二十世紀梨」(14.6%)、「スタバ(無い・できた)」(5.3%)、「かに」(5.1%)、「ゲゲゲの鬼太郎」(4.9%)と続く。
- ◆ 前年比では、「らっきょう」(+0.6pt)、「大山」(+0.6pt)の回答率が上昇している。

Q7. 「砂丘」以外で「鳥取県」と言われて何を連想しますか。 ※前問の回答以外でお答えください。(自由回答、複数回答あり)

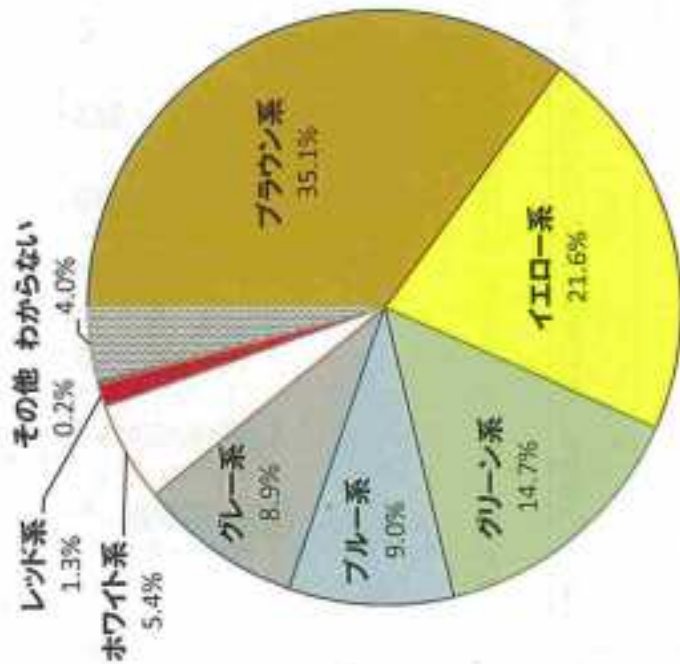


1-4. 鳥取県の色

- ◆「ブラウン系」(35.1%)と「イエロー系」(21.6%)で全体の約6割を占め、前年から大きな変化はない。
- ◆グリーン系が増加傾向にある。20代ではイエロー系と並んで2番目に多く、関西圏、中国・四国での回答が比較的多い。
- ◆60代以上ではグリーン系の回答率が高くなり、中京、中国・四国の60代以上では全項目で一番多い回答となっている。

Q 6. 鳥取県を色で表現するとすれば何色でしょうか。(自由回答)

	ブラウン系	イエロー系	グリーン系	ブルー系	グレイ系	ホワイト系	レッド系	その他	わからない
2016年全体	38.8	20.1	10.1	6.3	8.4	2.3	0.5	4.4	4.4
2017年全体	34.3	21.1	13.9	9.9	9.2	6.5	1.4	0.3	3.4
2018年全体	35.1	21.6	14.7	9.0	8.9	5.4	1.3	0.3	4.0
10代	37.8	26.9	19.0	8.0	2.5	3.4	1.1		2.4
20代	38.6	21.3	21.3	7.6	2.2	4.1	1.4		3.4
30代	38.1	25.3	15.6	7.9	3.1	3.3	0.8		4.8
40代	32.9	23.7	13.4	8.4	8.8	5.0	1.8		5.7
50代	35.0	19.3	8.9	8.4	14.0	1.7	0.2		4.3
60代以上	27.8	11.1	9.3	13.6	33.7	9.4	0.8		3.8
首都圏	37.3	22.7	11.6	7.2	10.0	5.0	1.3		4.9
10代	34.3	25.9	18.4	6.7	2.6	4.4	0.9		1.7
20代	41.4	24.5	15.8	6.6	2.0	3.3	1.8		4.2
30代	37.5	28.5	12.8	7.3	3.5	2.8	0.8		7.0
40代	34.3	25.3	9.8	5.3	10.3	6.3	1.5		0.5
50代	38.8	18.3	6.8	5.5	15.5	7.3	2.3		5.3
60代以上	11.5	14.0	6.8	11.8	51.1	6.3	0.3		4.3
関西圏	36.1	21.6	18.4	9.3	5.4	5.4	1.1		2.4
10代	36.7	25.3	21.3	8.0	2.7	3.3	0.7		2.0
20代	37.3	20.7	20.0	7.3	2.0	4.0	0.7		2.0
30代	38.0	36.7	20.7	6.7	2.7	2.7			2.7
40代	38.7	19.3	16.7	9.3	5.3	4.0	3.3		3.3
50代	36.0	24.0	12.0	6.7	9.3	8.7	2.0		1.3
60代以上	30.0	11.1	14.0	18.0	10.7	10.0	0.7		3.3
中国・四国	33.3	23.3	12.3	9.3	8.3	7.7	2.3		5.3
10代	33.3	17.6	14.6	6.3			4.2		4.2
20代	32.7	25.0	17.3	13.3			5.8		3.9
30代	34.0	34.0	12.0	2.0			6.0		4.0
40代	32.0	18.0	16.0	18.0			4.0		4.0
50代	28.0	22.0	16.0	10.0			14.0		10.0
60代以上	20.0	11.0	8.0	6.0			15.0		6.0
中国・四国	30.7	19.3	18.3	11.7	9.4	5.9	1.3		3.1
10代	37.1	25.7	17.9	17.1	4.3	1.4	2.4		
20代	35.9	17.3	27.0	8.9	1.7	4.7	3.5		3.0
30代	37.3	22.1	19.2	9.8	1.6	4.7	0.4		2.5
40代	34.3	26.0	18.8	11.2	3.2	2.0	0.4		4.8
50代	30.0	17.6	11.2	14.0	13.6	9.2	1.2		3.2
60代以上	18.8	12.8	11.6	14.8	26.0	10.0	1.6		2.8
九州圏	38.3	23.7	11.7	8.3	4.0	0.3	0.3		4.7
10代	29.7	29.7	12.4	5.4		2.7			3.2
20代	44.4	21.2	17.5	3.3	4.8	4.8			2.0
30代	32.0	40.0	6.0	12.0	2.0				6.0
40代	46.0	18.0	4.0	8.0	8.0				8.0
50代	34.0	20.0	8.0	8.0	21.0				6.0
60代以上	40.0	14.0	6.0	16.0	12.0				4.0

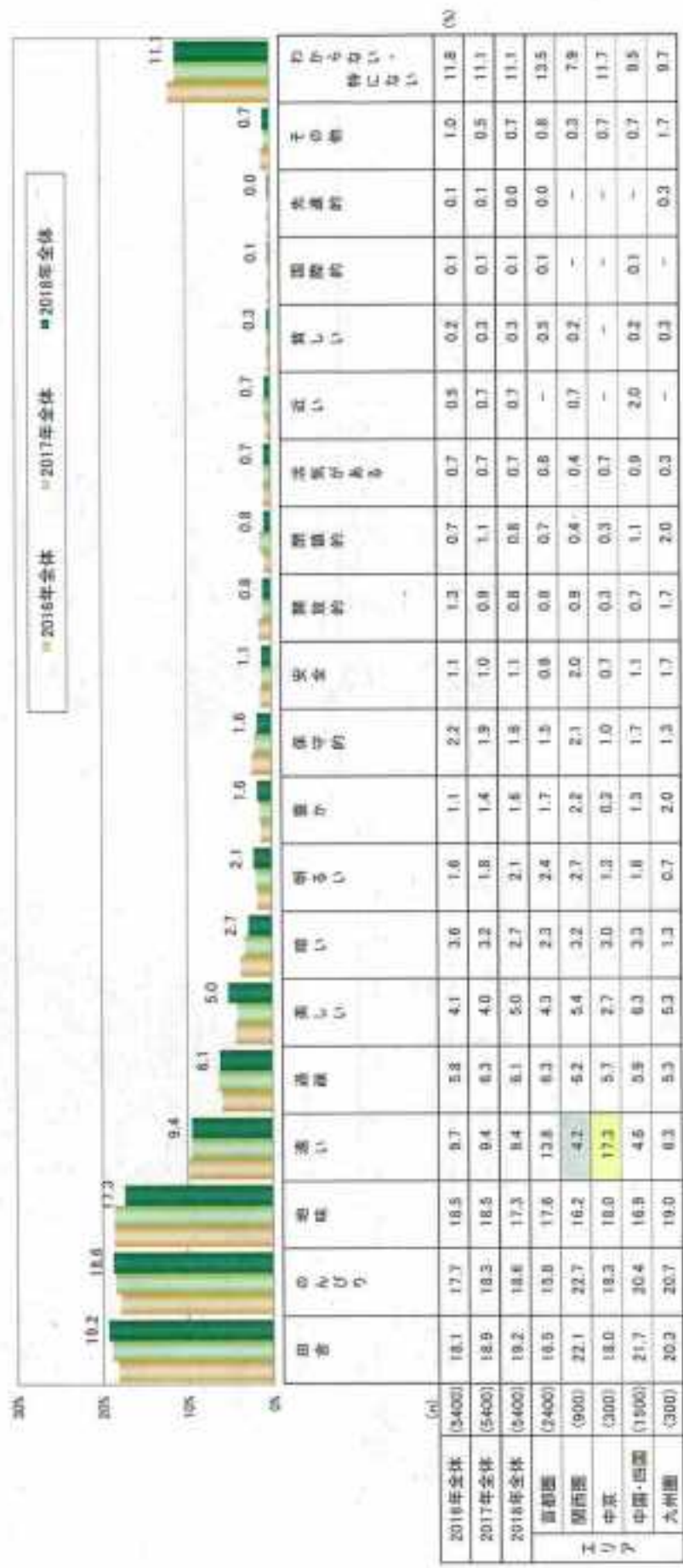


	ブラウン系	イエロー系	グリーン系	ブルー系	グレイ系	ホワイト系	レッド系	その他	わからない
2016年全体	38.8	20.1	10.1	6.3	8.4	2.3	0.5	4.4	4.4
2017年全体	34.3	21.1	13.9	9.9	9.2	6.5	1.4	0.3	3.4
2018年全体	35.1	21.6	14.7	9.0	8.9	5.4	1.3	0.7	4.0
10代	37.8	26.9	19.0	8.0	2.5	3.4	1.1		2.4
20代	38.6	21.3	21.3	7.6	2.2	4.1	1.4		3.4
30代	38.1	25.3	15.6	7.9	3.1	3.3	0.8		4.8
40代	32.9	23.7	13.4	8.4	8.8	5.0	1.8		5.7
50代	35.0	19.3	8.9	8.4	14.0	1.7	0.2		4.3
60代以上	27.8	11.1	9.3	13.6	33.7	9.4	0.8		3.8
首都圏	37.3	22.7	11.6	7.2	10.0	5.0	1.3		4.9
10代	34.3	25.9	18.4	6.7	2.6	4.4	0.9		1.7
20代	41.4	24.5	15.8	6.6	2.0	3.3	1.8		4.2
30代	37.5	28.5	12.8	7.3	3.5	2.8	0.8		7.0
40代	34.3	25.3	9.8	5.3	10.3	6.3	1.5		0.5
50代	38.8	18.3	6.8	5.5	15.5	7.3	2.3		5.3
60代以上	11.5	14.0	6.8	11.8	51.1	6.3	0.3		4.3
関西圏	36.1	21.6	18.4	9.3	5.4	5.4	1.1		2.4
10代	36.7	25.3	21.3	8.0	2.7	3.3	0.7		2.0
20代	37.3	20.7	20.0	7.3	2.0	4.0	0.7		2.0
30代	38.0	36.7	20.7	6.7	2.7	2.7			2.7
40代	38.7	19.3	16.7	9.3	5.3	4.0	3.3		3.3
50代	36.0	24.0	12.0	6.7	9.3	8.7	2.0		1.3
60代以上	30.0	11.1	14.0	18.0	10.7	10.0	0.7		3.3
中国・四国	33.3	23.3	12.3	9.3	8.3	7.7	2.3		5.3
10代	33.3	17.6	14.6	6.3			4.2		4.2
20代	32.7	25.0	17.3	13.3			5.8		3.9
30代	34.0	34.0	12.0	2.0			6.0		4.0
40代	32.0	18.0	16.0	18.0			4.0		4.0
50代	28.0	22.0	16.0	10.0			14.0		10.0
60代以上	20.0	11.0	8.0	6.0			15.0		6.0
中国・四国	30.7	19.3	18.3	11.7	9.4	5.9	1.3		3.1
10代	37.1	25.7	17.9	17.1	4.3	1.4	2.4		
20代	35.9	17.3	27.0	8.9	1.7	4.7	3.5		3.0
30代	37.3	22.1	19.2	9.8	1.6	4.7	0.4		2.5
40代	34.3	26.0	18.8	11.2	3.2	2.0	0.4		4.8
50代	30.0	17.6	11.2	14.0	13.6	9.2	1.2		3.2
60代以上	18.8	12.8	11.6	14.8	26.0	10.0	1.6		2.8
九州圏	38.3	23.7	11.7	8.3	4.0	0.3	0.3		4.7
10代	29.7	29.7	12.4	5.4		2.7			3.2
20代	44.4	21.2	17.5	3.3	4.8	4.8			2.0
30代	32.0	40.0	6.0	12.0	2.0				6.0
40代	46.0	18.0	4.0	8.0	8.0				8.0
50代	34.0	20.0	8.0	8.0	21.0				6.0
60代以上	40.0	14.0	6.0	16.0	12.0				4.0

1-5. 鳥取県に対するイメージ

- ◆ 「田舎」(19.2%)、「のんびり」(18.6%)、「地味」(17.3%)がトップ3のイメージで、過半数を占める状況は過去の調査と同様。
- ◆ 「地味」が昨年から減少し、増加傾向にある「のんびり」が「地味」を上回って2番目となった。

Q9. あなたが鳥取県に対して持っているイメージに最も当てはまるものを、1つ選んでください。(ひとつだけ)



※「2018年全体」で隣接シート。

1-6. 鳥取県に最も当てはまる県のイメージ

- ◆ 「自然環境に恵まれた県」(43.9%)が突出して高く、「おいしいものが豊富な県」(7.6%)、「古い歴史と豊かな文化に恵まれた県」(7.2%)が続く。
- ◆ 3割弱(29.5%)が「わからない・特にない」に回答しているが、減少傾向にある。

Q10. あなたは鳥取県をどのような県だと思いますか。最も当てはまるものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

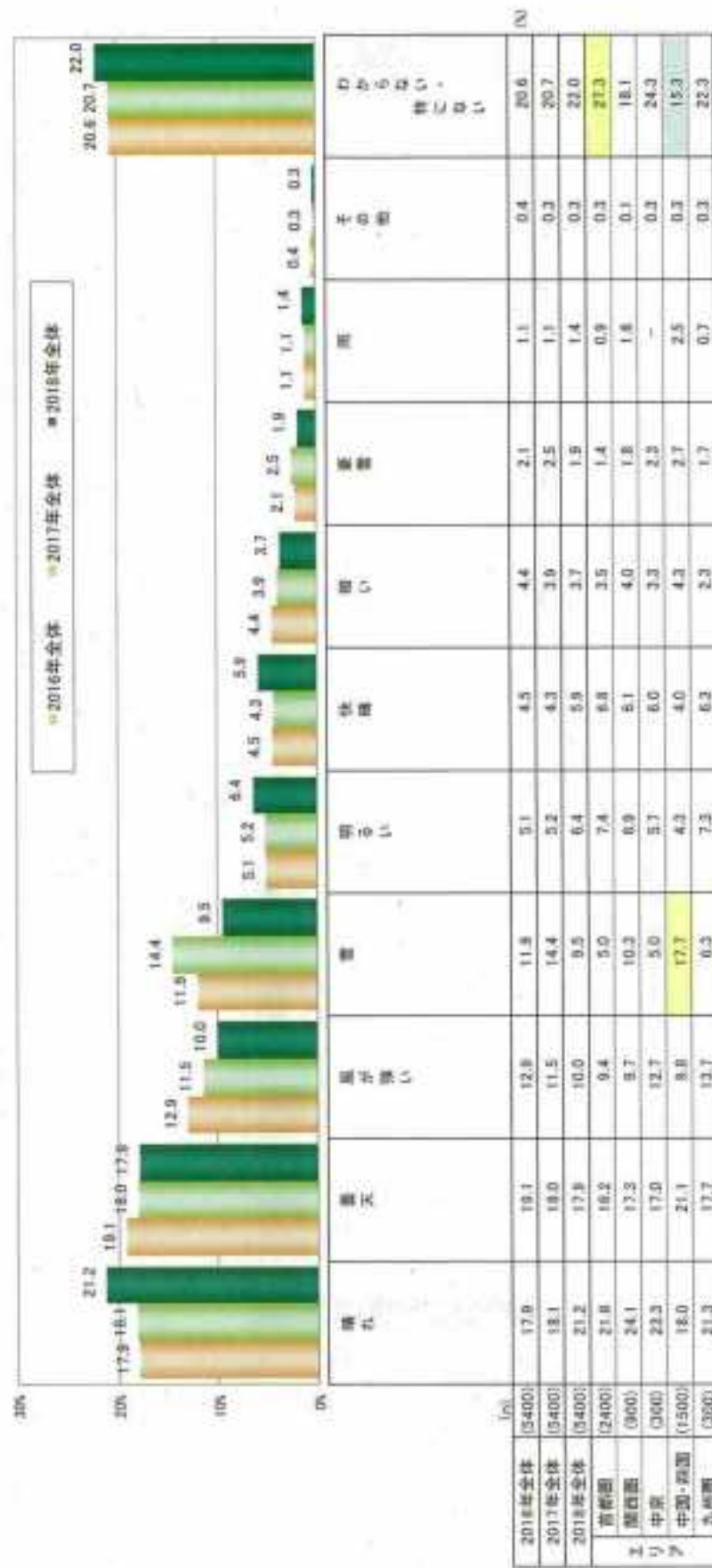


※ 「2018年全体」で調整済み。

1-7. 鳥取県の天候に対するイメージ

- ◆ 「晴れ」(21.2%)が1番多く、前回から増加(+3.1pt)。他にも、「明るい」(+1.2pt)、「快晴」(+1.6pt)の晴れたイメージが増加している。
- ◆ 2割強の人が「わからない・持っていない」と回答。
- ◆ 「雪」の回答が前年から大きく減少している。

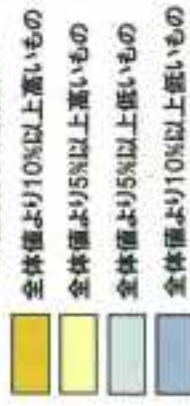
Q11. あなたが鳥取県の天候に対して持っているイメージに最も当てはまるものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



※ 「2018年全体」で階層リスト。

2. 鳥取県の話題・特産物・観光地について

※数表内の網掛け



但し、n=30未満は除く。
(以降のページも同様。)

2-1. 見聞きしたことのある鳥取県に関する話題

- ◆ 「スターバックスが都道府県で最後にオープン・すなは珈琲」(47.8%)が1位、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」(40.1%)が2位で回答も4割強と高い。
- ◆ 「鳥取県に改名・ウエルカニキャンペーン」は増加傾向にあり、前年から1.1pt増加。「星取県に改名・星空保全条例施行」は前年から1.9pt減少。
- ◆ 「大山開山1300年(平成30年)」は、前年から3.5pt増加し、8位となった。

Q12. 鳥取県の話題に関するものです。あなたが聞いたことのあるものを全てを選んでください。(いくつでも)



※「2018年全体」は2018年10月～12月の調査結果、「2017年全体」は2017年10月～12月の調査結果。
 ※1: 2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。
 ※2: 2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。
 ※3: 2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。
 ※4: 2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。
 ※5: 2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。
 ※6: 2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。
 ※7: 2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。
 ※8: 2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。
 ※9: 2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。
 ※10: 2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。2018年10月～12月の調査結果。

2-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向 <全体一覧>

- ◆ 全ての指標で「二十世紀梨」がトップ。
- ◆ 認知では「二十世紀梨」(61.5%)、「砂丘らっきょう」(31.6%)、「カニ(松葉がに、五輝星、ベニスワイガニ)」(27.8%)の順で高く、「ひとつもない」(28.8%)は全体の3割弱にとどまり、**全体の7割強が何らかの特産物を認知している。**
- ◆ 食用経験では「二十世紀梨」(43.9%)、「カニ(松葉がに、五輝星、ベニスワイガニ)」(13.9%)、「砂丘らっきょう」(11.5%)の順で高い。一方、半数近くが「ひとつもない」(46.0%)と回答している。
- ◆ 食用意向では「二十世紀梨」(33.0%)、「カニ(松葉がに、五輝星、ベニスワイガニ)」(26.1%)、「ぶどう(巨峰、ピオーネ、シャインマスカット)」(18.4%)の順で高く、次いで「新品種梨(新甘泉)」(17.2%)、「大山どり」(16.2%)、「イチゴ(紅ほっぺ、章姫)」(16.1%)、「メロン(倉吉プリンスメロン、アムスメロン)」(16.0%)等が拮抗している。「ひとつもない」(30.6%)は全体の3割にとどまり、**全体の7割強が何らかの特産品への食用意向を示している。**

Q13. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが、[1] 鳥取県が産地であることを知っているもの、[2] 鳥取県産で食べたことがあるもの、

[3] 鳥取県産で食べてみたいと思うものを、それぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)



2-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向 < 認知の推移 >

- ◆ 「二十世紀製」(61.5%)が突出し、「砂丘らっきょう」(31.6%)、「カニ(松葉がに、五輝星、ベニズワイガニ)」(27.8%)と続く。
- ◆ 「乳牛・乳製品(白バラ牛乳・白バラヨーヨー)」が前年から大きく(+7.1%)増加した。

Q13. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが、鳥取県が産地であることを知っているものを全て選んでください。(いくつでも)

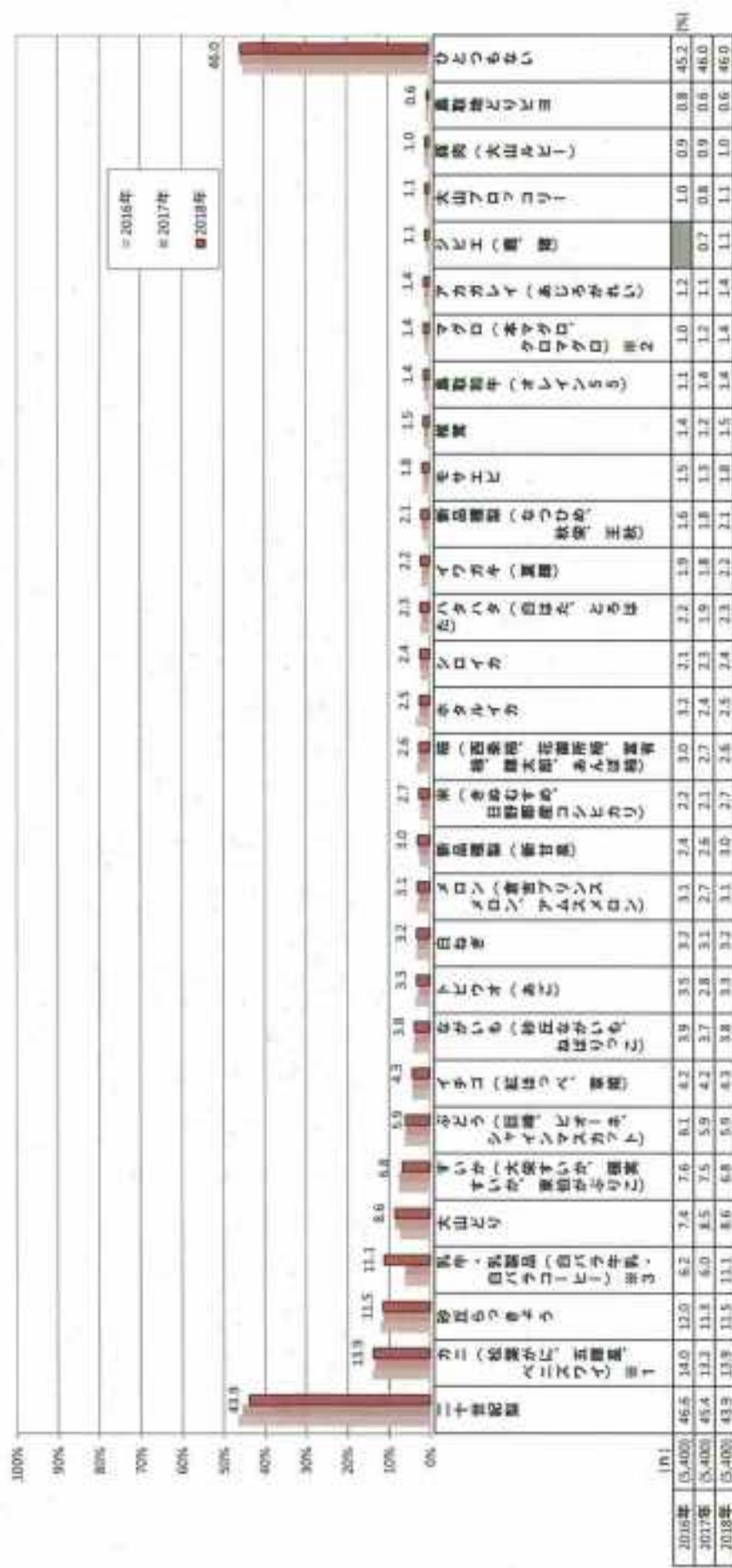


※「2018年」で隣接ゾート ※1:2016年とは「ズワイガニ」 ※2:2016年とは「クロマグロ」 ※3:2016年・2017年とは「乳牛・乳製品」

2-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向 <食用経験の推移>

- ◆ 特産物の中では「二十世紀梨」(43.9%)が最も高く、半数弱が食用経験があり、一方、「ひとつもない」(46.0%)の回答も多く、半数弱。
- ◆ 「乳牛・乳製品(白バラ牛乳・白バラコーヒー)」が前年から大きく(+5.1%)増加した。
- ◆ 全体的に前回より微増の傾向にある。

Q13. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが、鳥取県産で食べたことがあるものを全て選んでください。(いくつでも)



※1:2016年は「松葉がに(ズワイガニ)」 ※2:2016年は「クロマクロ」 ※3:2016年・2017年は「乳牛・乳製品」 ※4:2016年は「松葉がに(ズワイガニ)」

2-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向 <食用意向の推移>

◆ 全体的に微減傾向。その中で、「乳牛・乳製品」が前回より1.0pt増加。

Q13. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが、鳥取県産で食べてみたいと思うものを全て選んでください。(いくつでも)

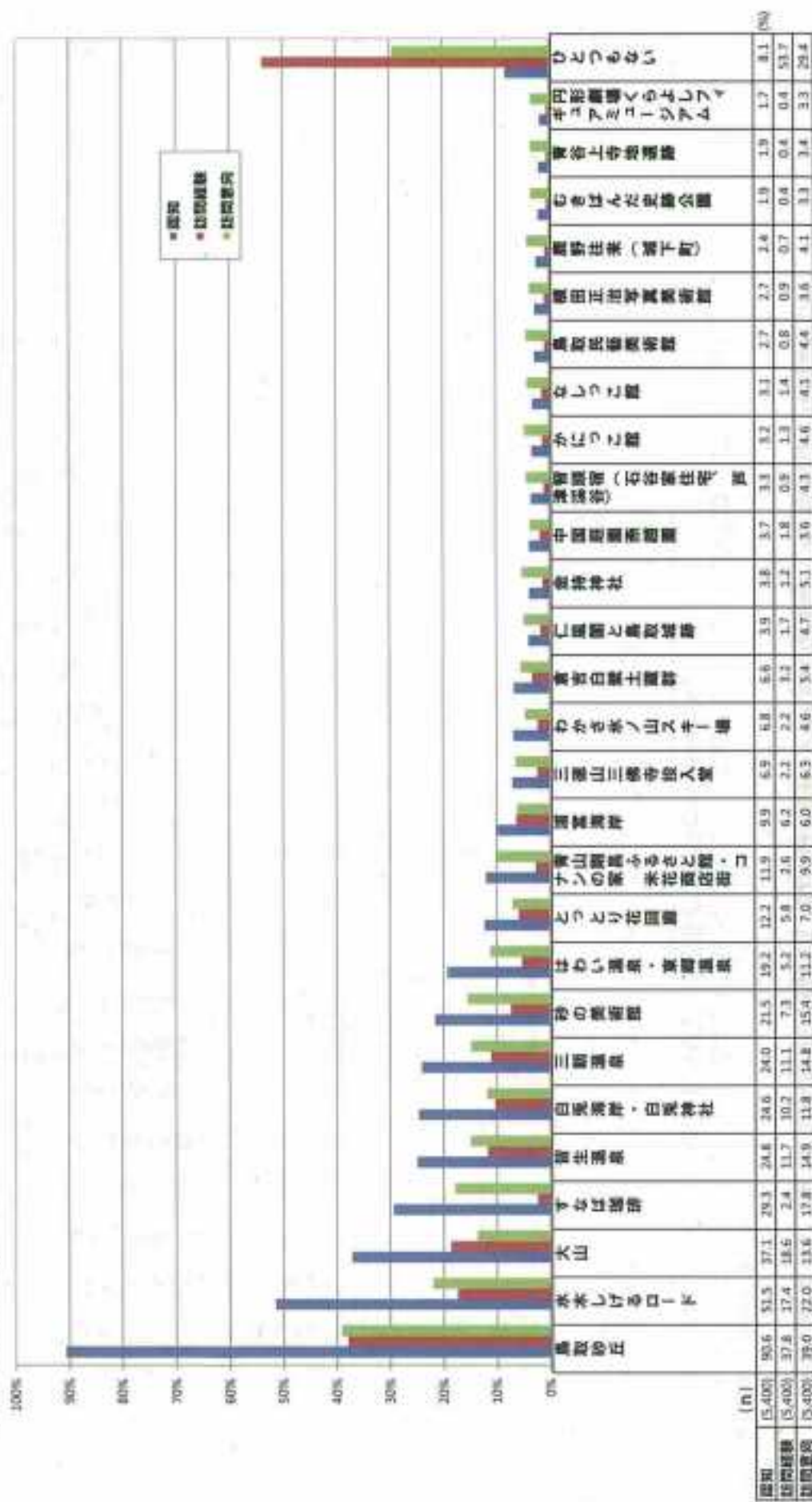


※1:2016年は「松葉がに(ズワイガニ)」 ※2:2016年は「クロマツロ」 ※3:2016年・2017年は「乳牛・乳製品」

2-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向 <全体一覧>

- ◆ 調査開始以来、「ひとつもない」を除く全ての項目の中で「鳥取砂丘」がトップとなっている。
- ◆ 認知率は「鳥取砂丘」(90.6%)が突出して高く、「水木しげるロード」(51.5%)、「大山」(37.1%)、「すなはち珈琲」(29.3%)と続く。
- ◆ 訪問経験では「ひとつもない」(53.7%)が最も多い。次いで「鳥取砂丘」(37.8%)、「大山」(18.6%)、「水木しげるロード」(17.4%)と続く。
- ◆ 訪問意向では「鳥取砂丘」(39.0%)、「水木しげるロード」(22.0%)、「すなはち珈琲」(17.8%)が上位に挙がる。

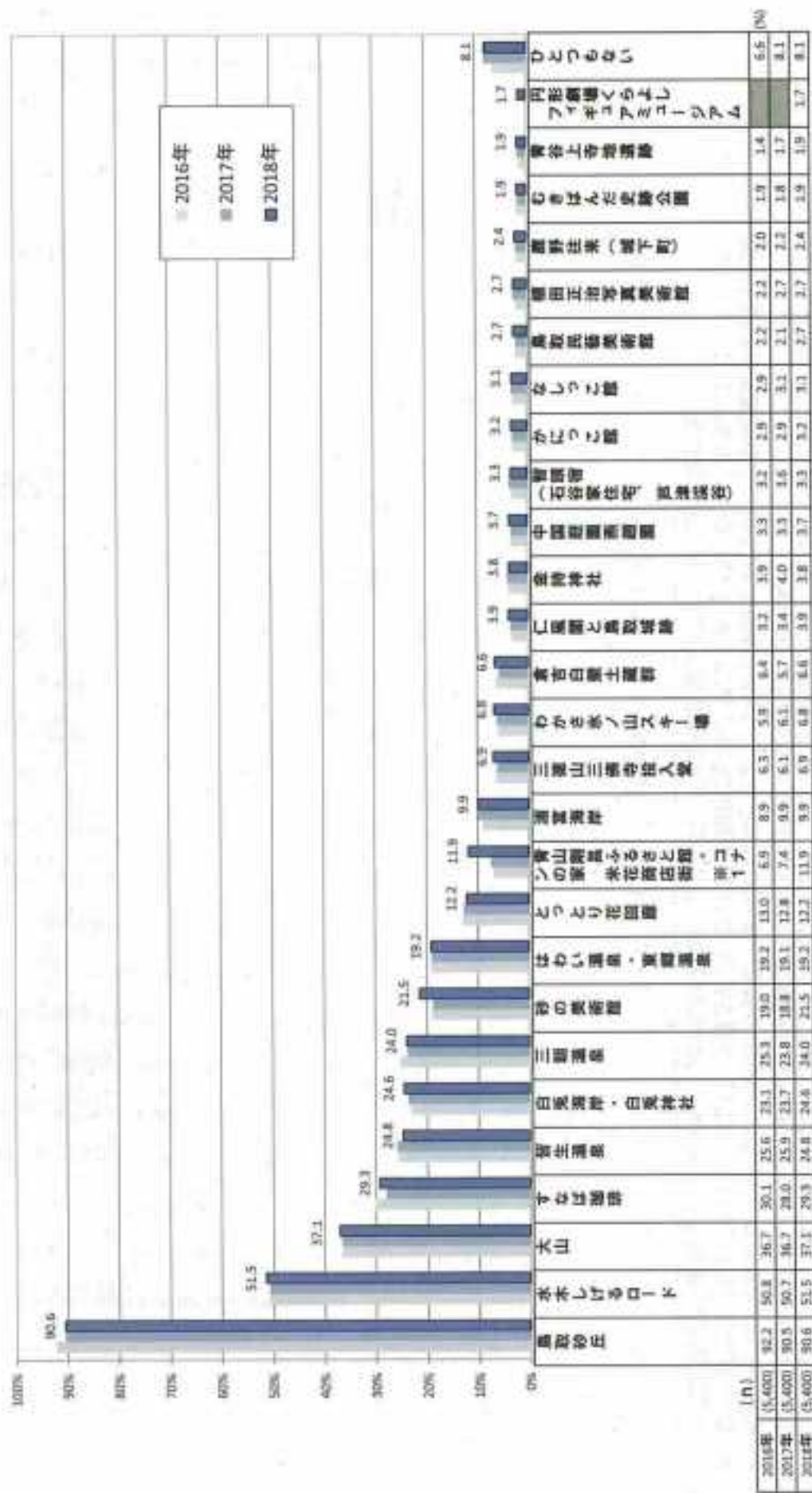
Q14.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、[1] 知っているもの、[2] 行ったことがあるもの、[3] 行ってみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。
(それぞれいくつでも)



2-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向 < 認知の推移 >

- ◆ 全体として大きな変化はない。
- ◆ 「鳥取砂丘」(90.6%)が突出して高く、「水木しげるロード」(51.5%)、「大山」(37.1%)、「すなはち遊園」(29.3%)と続く。
- ◆ 「青山剛昌ふるさと館・コナンの家米花商店街」の認知率が前年から4.5pt上昇。

Q14.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、知っているものを全て選んでください。(いくつでも)



※「2018年」で開帳スタート ※1:2016年・2017年は「青山剛昌ふるさと館」 ※「内形劇場くらよしアミューズピア」は2018年新開帳

2-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向 <訪問経験の推移>

- ◆ 全体として大きな変化はない。
- ◆ 「ひとつもない」(53.7%)が最も多い、次いで、「鳥取砂丘」(37.8%)、「大山」(18.6%)、「水木しげるロード」(17.4%)と続く。

Q14.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、行ったことがあるものを全て選んでください。(いくつでも)



※「2018年」で回答シート ※1:2016年・2017年は「青山園馬ふるさと館」 ※「ひらね橋くらしのミュージアム」は2018年新規項目

2-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向 <訪問意向の推移>

- ◆ 全体として大きな変化はないが、「すなは珈琲」の率が増加し、減少傾向にある温泉よりも多くなった。
- ◆ 「鳥取砂丘」(39.0%)、「水木しげるロード」(22.0%)、「すなは珈琲」(17.8%)、「すなは珈琲」(15.4%)が上位に挙がる。一方、「ひとつもない」(29.4%)が3割近くとなっている。
- ◆ 「青山剛昌ふるさと館・コナンの家米花商店街」が前年から3.0pt増加。

Q14.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、行ってみたいと思うものを全て選んでください。(いくつでも)

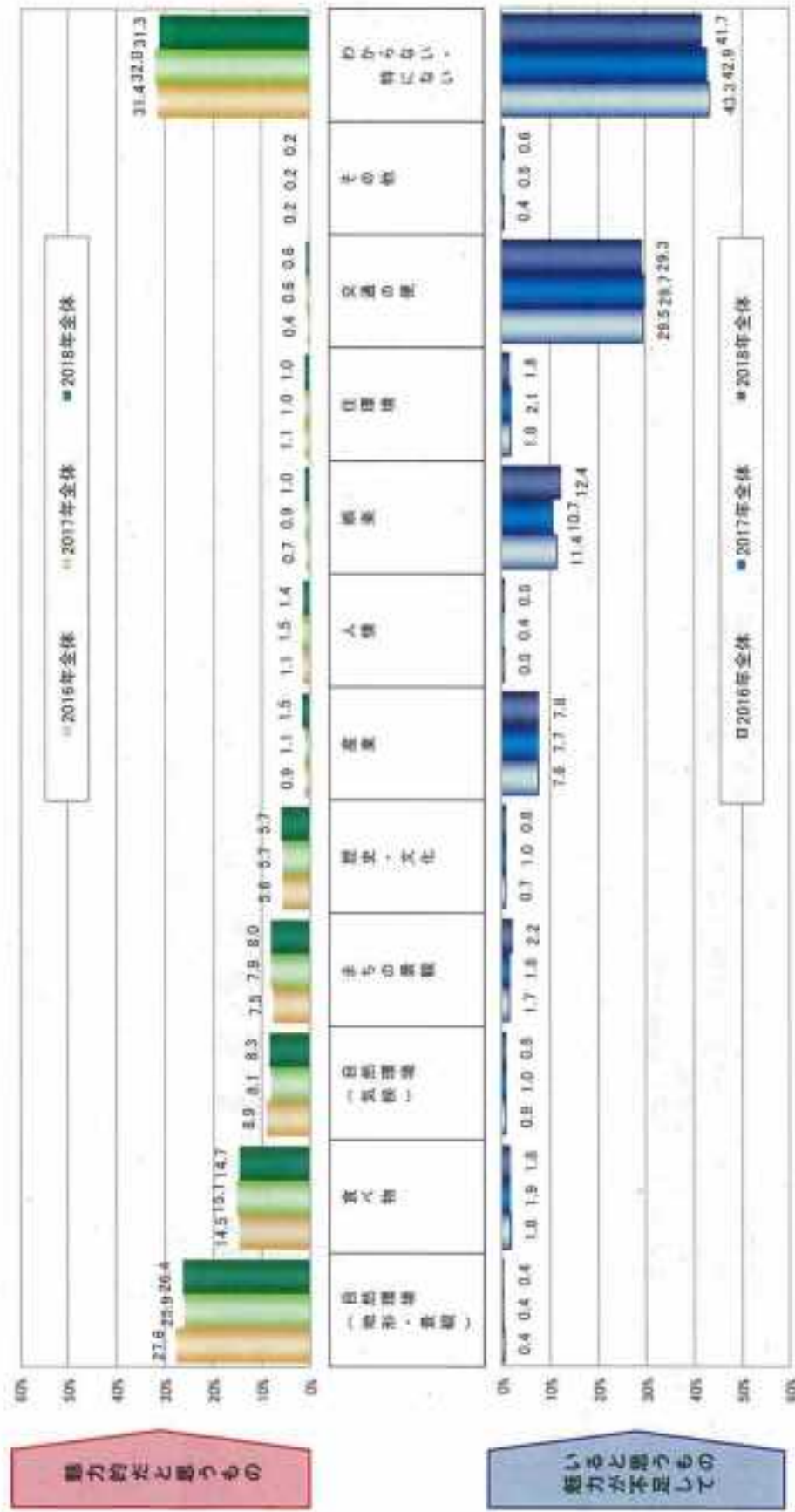


※「2018年」で掲載シート ※1:2016年・2017年は「青山剛昌ふるさと館」 ※「円形劇場くらよしファミリーシアム」は2018年新規項目

2-4. 鳥取県の魅力点と魅力不足点

- ◆ 【魅力的だと思うもの】のトップは「自然環境(地形・景観)」(26.4%)、以下「食べ物」(14.7%)、「自然環境(気候)」(8.3%)、「まちの景観」(8.0%)、「歴史・文化」(5.7%)の順で続く。
- ◆ 【魅力が不足していると思うもの】のトップは「交通の便」(29.3%)、以下「娯楽」(12.4%)、「産業」(7.8%)が続く。
- ◆ 時系列でみると、【魅力的だと思うもの】は大きな変化はない。【魅力が不足していると思うもの】では、「わからない・特にない」が減少傾向にある。

Q15. 鳥取県について、[1] 魅力的だと思うもの、[2] 魅力が不足していると思うもの、をそれぞれ1つ選んでください。(それぞれひとつだけ)



※魅力的だ・思わない「2016年全体」で隣接シート。

(n=3400)

2-5. 鳥取県の魅力向上に必要な分野

- ◆ 「鳥取県までの交通の整備(全般)」(21.2%)がトップ。以下「情報発信・PR・知名度アップ」(11.4%)、「街並み景観の向上・商店街整備など魅力ある街づくり」(7.0%)が続く。「グルメの充実」は前回から0.8pt減少し、順位を1つ下げて4位となった。
- ◆ 「わからない・特にない」は全体の2割強。
- ◆ 時系列で見ると、「鳥取県までの交通の整備(全般)」がトップで変わらない。「わからない・特にない」が減少傾向にある。

Q16. 鳥取県の魅力を高めていくためには、どのような分野に力を入れていくことが必要だと思いますか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。
(ひとつだけ)



※「2018年全体」は概算レポート

2-6. 鳥取県に関する主な情報入手経路

- ◆「テレビ番組」(36.5%)が主要情報源となっているが、近年減少傾向にある。大差があり2位に「インターネット」(SNS以外のHP、掲示板、ブログ等) (8.4%)が続く。3位の「インターネット」(Facebook、Twitter、Instagram等のSNS) (8.1%)は増加傾向、前年から1.3pt増。以下、「旅行雑誌」(6.3%)、「家族・親族・友人・知人」(5.4%)と続き、順位は前回と同様。

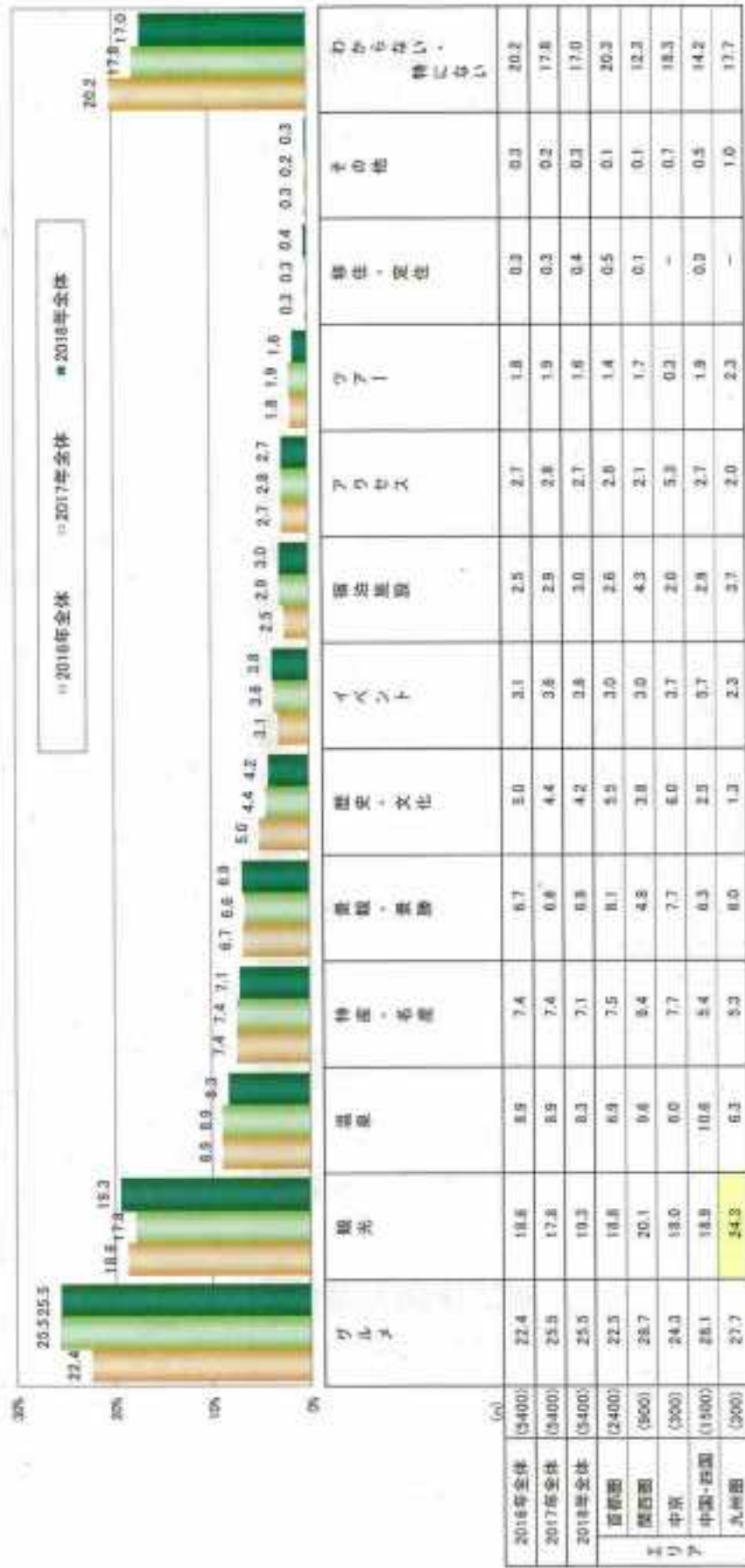
Q17. あなたは、鳥取県に関する情報を、どこから得ることが多いですか。最も主要なものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



2-7. 鳥取県について得たい情報

- ◆ 「グルメ」(25.5%)が最も高く、次いで「観光」(19.3%)、「温泉」(8.3%)、「特産・名産」(7.1%)、「景観・景勝」(6.9%)と続き、順位は前回同様。
- ◆ 「わからない・特にない」は減少傾向にある。

Q24. 鳥取県について、あなたは、今後どのような情報を得たいですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



出「2018年全体」で開示シート。

3. 鳥取県への訪問意向について

※数表内の網掛け

	全体値より10%以上高いもの
	全体値より5%以上高いもの
	全体値より5%以上低いもの
	全体値より10%以上低いもの

但し、n=30未満は除く。
(以降のページも同様。)

3-1. 鳥取県への訪問意向

◆ 「行ってみたい」(74.2%)は、昨年と同程度。この3年間、7割強で増加傾向。

- エリア別で見ると、関西圏(79.3%)、中国・四国(78.1%)、などが上位で高く、首都圏(70.5%)が最も低かった。
- エリア×年代別では、**関西圏10代・30代・40代・60代以上**、**中国・四国50代**、**九州圏60代以上**で、共通して8割程度と特に高い。一方、**中京40代・50代**と**九州圏の10代**で、全体を10pt前後下回っており、他層に比べて相対的に低い。

Q18. あなたは、鳥取県に行ってみたいと思いますか。

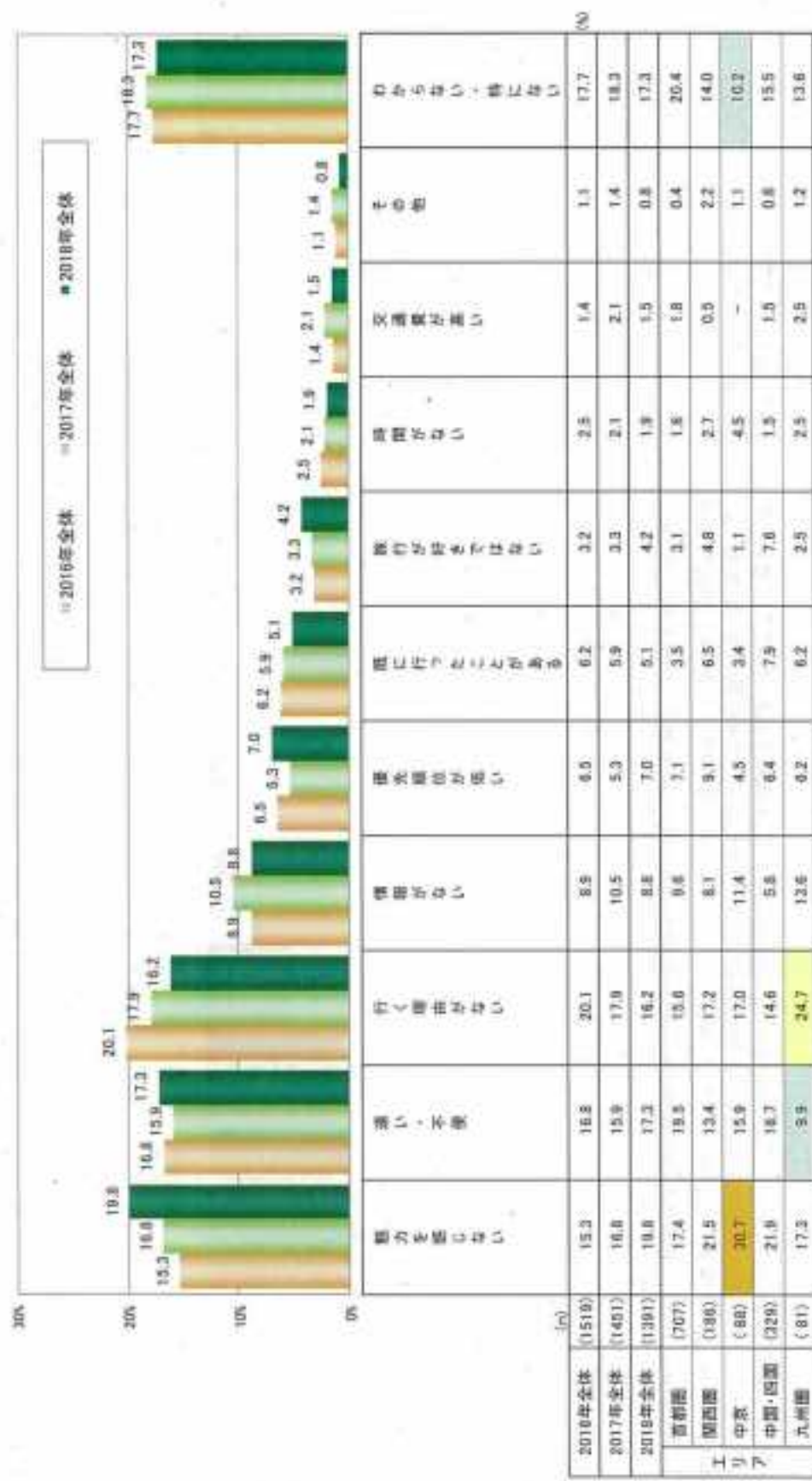
	(n)	行ってみたい	行きたくない
2016年全体	(5400)	71.9	28.1
2017年全体	(5400)	72.1	27.9
2018年全体	(5400)	74.2	25.8
関西圏	(2400)	79.3	20.7
10代	(343)	71.9	28.1
20代	(457)	79.4	20.6
30代	(400)	71.3	28.7
40代	(400)	68.8	31.2
50代	(400)	70.3	29.7
60代以上	(400)	88.0	12.0
中国・四国	(900)	78.1	21.9
10代	(150)	80.0	20.0
20代	(150)	74.0	26.0
30代	(150)	84.3	15.7
40代	(150)	82.0	18.0
50代	(150)	70.3	29.7
60代以上	(150)	82.0	18.0
中京	(300)	70.7	29.3
10代	(40)	79.2	20.8
20代	(82)	71.2	28.8
30代	(90)	74.0	26.0
40代	(50)	68.0	32.0
50代	(90)	62.0	38.0
60代以上	(90)	79.0	21.0

	(n)	行ってみたい	行きたくない
2016年全体	(3400)	71.9	28.1
2017年全体	(3400)	73.1	26.9
2018年全体	(3400)	74.2	25.8
中国・四国	(1500)	78.1	21.9
10代	(70)	79.8	20.2
20代	(404)	78.3	21.7
30代	(276)	76.1	23.9
40代	(250)	70.0	30.0
50代	(250)	82.0	18.0
60代以上	(250)	77.2	22.8
九州圏	(300)	71.0	29.0
10代	(37)	67.6	32.4
20代	(83)	71.0	29.0
30代	(50)	70.0	30.0
40代	(50)	70.0	30.0
50代	(50)	70.0	30.0
60代以上	(50)	80.0	20.0

3-2. 鳥取県への非訪問意向理由

- ◆ 「行きたくない」と回答した人の理由は、「魅力を感じない」(19.8%)、「遠い・不便」(17.3%)、「行く理由がない」(16.2%)がトップ3。
- ◆ 時系列で見ると、依然としてトップ3の項目は同様の傾向にある。その中で「魅力を感じない」(19.8%)が前回から3.0pt増加して、トップとなった。一方、「行く理由がない」が昨年に比べて1.7pt減少し、前年トップから3番目になった。それ以外は昨年とそれほど変わらない。
- エリア別で見ると、首都圏では「遠い・不便」が、九州圏では「行く理由がない」がトップの項目。
- 中京で「魅力を感じない」が他エリアに比べて高い。九州圏では「行く理由がない」の割合が高く、「遠い・不便」が低い。

Q19. 【期間で「行きたくない」とお答えの方にお伺いします。】その理由は何ですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

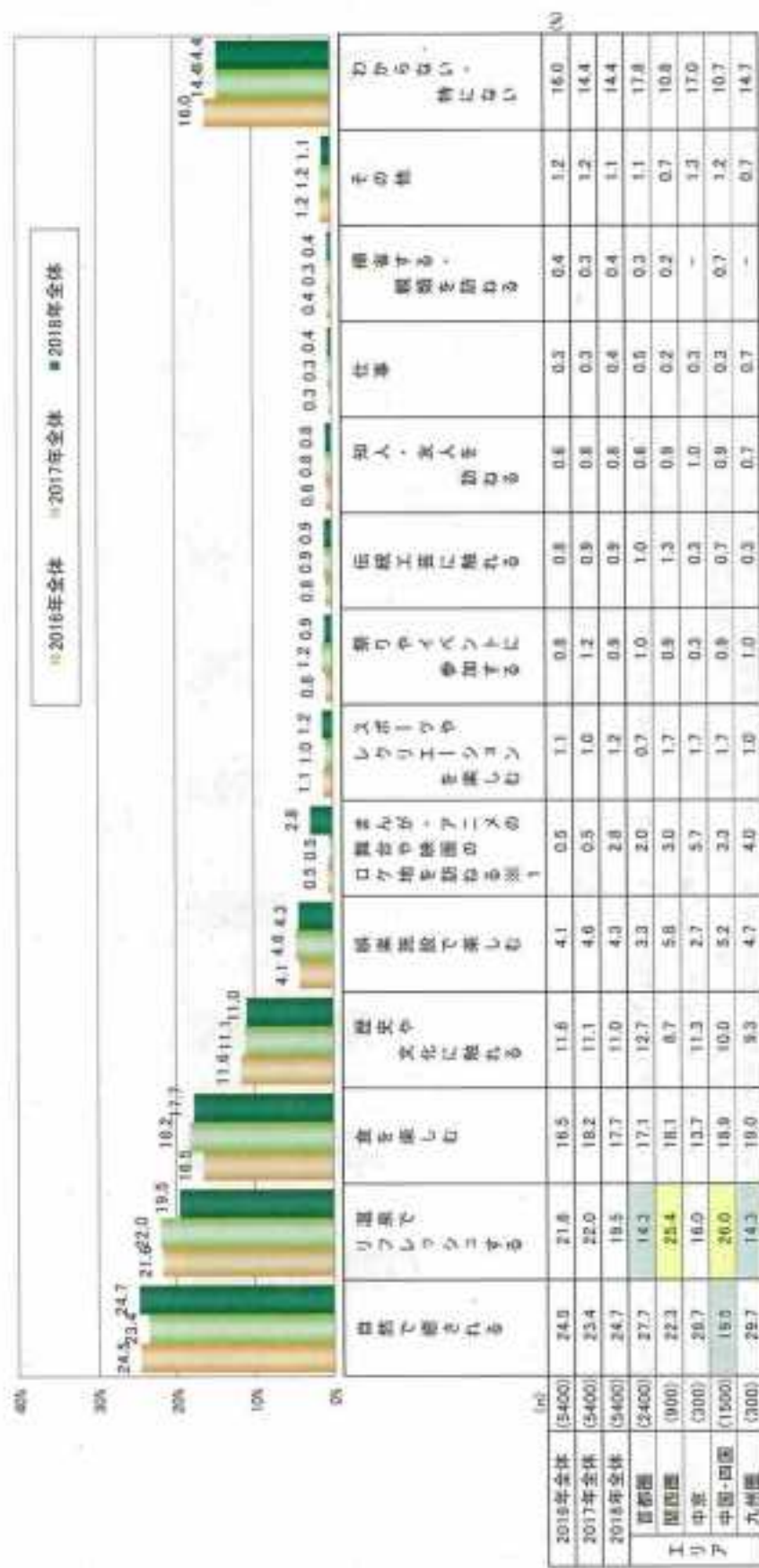


※「2018年全体」で補正シート。

3-3. 今後の鳥取県への訪問時の主要目的

- ◆ 「自然で癒される」(24.7%)、「温泉でリフレッシュする」(19.5%)、「食を楽しむ」(17.7%)がトップ3で、前回と同様の傾向。
- ◆ 「まんが・アニメの舞台や映画のロケ地を訪ねる」(今回から「まんが・アニメの舞台や」を追加)は、2.8%だった。
- ◆ 時系列で見ると、「温泉でリフレッシュする」が減少。「わからない・特にない」は前年と同程度だった。
- エリア別にみると、関西圏、中国・四国では「温泉でリフレッシュする」がやや高く、各地域での全体のトップの項目になっている。

Q20. 今後、鳥取県を訪れるとした場合、何を目的に訪れたいですか。最も主要なものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



※ 「2016年全体」で関東圏、「2017年」は「映画鑑賞」を訪問する。

3-4. 鳥取県に対する満足度

- ◆ 「非常に満足」(6.9%)、「概ね満足」(36.9%)を合わせた43.8%が「満足」と評価。全体的には「普通」が52.3%と大半を占めた。
- ◆ 時系列で見ると、「満足計」の割合が前年から7.0pt増加した。
 - エリア別に見ると、中京の満足度が他エリアに比べて「満足計」の回答が低い。
 - エリア×年代別では、若年層の方が満足度が高く、高年層では「普通」が増える傾向。首都圏、関西圏の10代・20代では半数以上が「満足」と回答。

Q22. 【鳥取県を「訪れたことがある」、または鳥取県に「居住したことがある」とお答えの方にお伺いします。】
他の都道府県と比べ鳥取県（県民・施設・店舗等）のあなたに対する「おもてなし」はいかがでしたか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。

	Q22				満足計
	非常に満足	概ね満足	普通	概ね不満	
2016年全体 (2568)	6.9	30.9	54.8	8.3	36.4
2017年全体 (2592)	5.1	31.7	57.5	6.3	36.8
2018年全体 (2638)	6.9	36.9	52.3	3.1	43.8
首都圏 (879)	7.7	33.9	54.9	2.2	41.5
10代 (53)	20.8	54.0	45.3	0.0	54.7
20代 (103)	13.0	38.8	41.7	5.5	32.4
30代 (116)	6.9	41.4	47.4	3.4	48.3
40代 (107)	6.9	28.0	60.7	2.0	34.6
50代 (126)	4.8	34.1	59.5	0.0	38.9
60代以上 (174)	1.1	29.3	63.8	2.3	32.8
関西圏 (838)	6.0	37.1	50.7	3.3	45.1
10代 (76)	17.1	49.1	32.8	5.3	59.3
20代 (84)	9.5	43.8	34.0	8.3	50.3
30代 (113)	8.0	35.4	54.0	1.0	43.4
40代 (114)	5.2	32.9	60.5	0.0	38.6
50代 (121)	5.9	39.5	56.2	1.1	41.3
60代以上 (131)	6.1	32.8	63.0	6.1	36.9
中京 (102)	3.1	32.6	59.8	3.5	35.3
10代 (8)	11.1	44.4	33.3	11.1	55.8
20代 (6)	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3
30代 (14)	7.1	42.9	50.0	0.0	50.0
40代 (18)	5.6	27.8	61.1	5.5	32.3
50代 (21)	0.0	33.8	71.4	6.2	22.8
60代以上 (31)	0.0	32.3	61.3	6.2	32.3

	Q22				満足計
	非常に満足	概ね満足	普通	概ね不満	
2016年全体 (2568)	6.5	20.3	63.8	3.0	26.8
2017年全体 (2592)	5.1	31.7	57.5	5.0	36.8
2018年全体 (2638)	6.9	36.9	52.3	3.1	43.8
中国・四国 (1103)	5.8	39.2	51.2	3.0	45.0
10代 (47)	10.6	38.3	48.8	2.1	48.9
20代 (297)	6.9	38.1	50.2	3.0	46.7
30代 (198)	7.5	40.8	47.5	3.3	48.0
40代 (180)	0.4	39.9	49.5	3.2	46.3
50代 (189)	1.1	39.0	56.1	2.0	39.7
60代以上 (224)	1.1	41.1	54.5	1.0	42.8
九州圏 (115)	6.6	35.6	48.7	4.3	46.1
10代 (6)	16.7	30.0	33.3	0.0	66.7
20代 (13)	23.1	23.1	53.8	0.0	66.2
30代 (18)	12.8	37.5	50.0	0.0	50.0
40代 (23)	4.3	39.1	43.5	8.1	42.3
50代 (24)	4.2	37.5	58.3	0.0	41.7
60代以上 (33)	9.1	30.4	45.5	9.1	45.5

